

ジェイアールバス東北本部

第44号

2022年6月1日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申10号 「2022年度夏季手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行う！

ジェイアールバス東北本部は、6月1日に申10号「2022年度夏季手当に関する申し入れ」について趣旨説明を行いました。

【組合】

- ・約2年におけるコロナ禍のなか、組合員・社員は感染のリスクを抱えながらも安全・安定輸送に努め、地域の公共交通機関としての使命を全うしてきた。
- ・コロナ禍で厳しい会社の経営の中でも組合員・社員が協力し、3月16日に発生した地震による新幹線代行輸送にも助勤等で社員一丸となり取り組むことで増収に繋がった。
- ・組合員・社員の生活は、昨年の定期昇給カットや5年連続のベアゼロと期末手当の減額で大きく年収が落ち込んでいる。更には最近の物価上昇の影響も重なり、厳しい状況になっている。
- ・収入が減り、会社の魅力を感じられなくなり退職者が後を絶たない。今回の回答次第で退職するか考えている組合員・社員もいる。これから更に退職者が増え続ける危機感がある。
- ・夏季手当は生活給の要素が高く、コロナ以前の支給額に早く戻して欲しいという声が非常に多い。
- ・更なる人材流出を防ぎ、安全・安定輸送とサービス品質向上につなげ、会社の存続・発展のためにも、要求満額回答を求める。

【会社】

- ・コロナの影響は収束していないが、これまで社員自らとお客さまの感染防止に努めたことで安全安定なバスの運行を保つことができてきているのは、**社員皆さんの頑張り**だと思っており感謝申し上げます。
- ・3月の地震対応や代行輸送を成し遂げたのは**社員の皆さんの頑張り**があったからである。また陸羽西線と福島の列車代行もスタートしたが、これらの**皆さんの頑張り**に対して感謝申し上げます。
- ・**皆さまの協力**によって、2021度の決算は▲4.3億。経費節減の効果も大きく、2020年度の▲14億より改善することができた。あともう少して黒字というところまできている。
- ・しかしながら**赤字には変わりなく、燃油費や電気料の上昇**といった不安要素もあり、**前が見通せないリスクもあるもの**の、今年度は黒字を目指す。
- ・どこまで期待に応えられるか分からないが、**皆さんの努力**によってここまで持ち直してきたと思っている。列車代行の収入を考えれば、**今年度の決算は良い数字になる**と思っている。
- ・これまでの**皆さんの頑張り・努力**を評価しながら、同時に会社の継続を考えながら議論していく。

**人材流失を防ぎ、組合員・社員と家族の生活を守るため
要求の満額回答を強く求める！**